

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4070702289
法人名	九州運輸建設株式会社
事業所名	グループホーム ふくじゅそう
所在地 (電話番号)	福岡県北九州市八幡西区黒崎城石1番2号 (電話) 093 - 643 - 2870

評価機関名	株式会社アーバン・マトリックス		
所在地	北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成20年7月23日	評価確定日	平成20年8月4日

【情報提供票より】(平成20年7月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 0人, 常勤換算 4.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造一部鉄骨造り 1階建ての1階部分
------	-----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	(水道光熱費)11,000円	
敷金	有(150,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(252,000円)	有りの場合 償却の有無	有(3年)	
食材料費	朝食	250 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	150 円
	1ヶ月あたり 45,000円			

(4) 利用者の概要(7月14日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	6 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.6 歳	最低	67 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三菱化学(株)黒崎事業所附属病院 / 村井クリニック / 折尾病院 / うえの歯科クリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームふくじゅそうは、閑静な住宅地の高台に緑に囲まれて立地している。中庭の芝生や木々は入居者のホッとできる空間となっており、グループホームふくじゅそうは認知症高齢者の幸せを願った安心の住まいとして優れた環境を有している。共用空間は天井が高く、開放感溢れる造りとなっており、採光と空気調整の役割を果たしている。広いリビングと廊下は入居者の寛ぎの場であり、時には歩行訓練や行事・催し物など多目的に利用されている。居室はトイレや洗面も設置され、プライバシーを尊重した造りとなっており、一人ひとりの個性が活かした空間となっている。開設4年目を迎え、地域行事への参加も一方的ではなく、地域行事に模擬店を出店したりと積極的に取り組んでおり、入居者にとって地域の人たちとの交流の大きな機会となっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	グループホームの基本理念である入居者の自立支援と尊厳の保持、新たなサービス体系である地域密着型サービスについての規定をふくじゅそう独自の理念として、わかりやすい言葉で表したいと職員全員で検討し作成した。平成20年4月より改定している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価にあたっては、日々のケアを振り返り、入居者の重度化や終末期に対する支援についての方針の共有など、ホームで安心した暮らしが維持できるように対応できる最大限のケアについて検討するなど前向きに取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	定期的に2ヶ月1回、地域の協力者・家族・職員・入居者を交え開催している。時間調整など難しい面もあるが、参加者の協力で感謝している。内容はホームの状況報告や行事などで、グループホームの理解を深めていただけるように取り組んでいる。検討事項については緊急時における地域の支援などの体制づくりが挙げられている。ゆっくりではあるが有意義な会議になるよう職員全員で努力している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居時の重要事項の説明時に意見箱の設置や面会時の報告・運営推進会議の参加など、家族の意見や意向を把握できるように努めている点を話している。家族の意見や相談については、どんな些細な事であっても直ちに会議で検討し、意向にそえるように努力している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	4つの自治会との交流が盛んで、行事や催し物への参加は日常的である。朝の散歩時に挨拶や会話をしたり、時には野菜や果物などを届けていただいたり、町内の自宅訪問なども行い交流を図っている。このように地域との交流は充分に行われているので、今後は地域の高齢者などが気軽に訪問や相談などに来られるような関係づくりを期待したい。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	平成20年4月1日より、地域密着型サービスの主旨をふまえ、新たにグループホームの理念・基本方針を改定している。入居者の生活支援のあり方を職員だけではなく、地域の方々にも情報発信し地域の中で支え合うように、基本理念・方針を職員全員で検討している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は関係者全員に理解していただけるように、ホーム入り口に掲示している。職員は1日のケア開始のけじめとして毎朝申し送り後に唱和している。その後、その日のリーダーが1日の目標を掲げ、理念にそったケアやサービスが提供できるように日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	4つの自治会との交流は盛んで、行事や催し物のへの参加は日常的である。朝の散歩時に挨拶や会話をしたり、時には野菜や果物などを届けていただいたり、町内の自宅訪問なども行い交流を図っている。このように地域との交流は充分に行われているので、今後は地域の高齢者などが気軽に訪問や相談などに来られるような関係づくりを期待したい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価での助言である基本理念の再検討は職員の力を出し合い、良い結果を得ることができただけでなく、チームワークの大切さを実感する大きな機会ともなり、外部評価の目的や役割を最大限に活かした成果が出ている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に2ヶ月に1回、地域の協力者・家族・職員・入居者を交え開催している。時間調整など難しい面もあるが、参加者の協力で感謝している。内容はホームの状況報告や行事などで、グループホームの理解を深めていただけるように取り組んでいる。今後も更に活発な意見交換ができるように会議の運営について工夫していきたいと考えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者や地域包括支援センターへ日常的に報告を行い、助言・指導をいただいている。地域包括支援センターへは空き居室の情報提供なども行っている。平成17年～平成20年3月まで、北九州市介護相談員派遣事業を受けており、業務委託にも積極的に取り組んでいる。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。	講習会に参加し、資料などを回覧している。また、市の訪問調査員からも資料提供を受け、助言を頂いている。制度の対象となる入居者も出てきており、関係者に対して適確に制度を利用できるように取り組んでいる。		権利擁護については入居者の人権と尊厳に関わることであり、職員は個々に合った支援ができる能力を養うことが求められる。制度の理解は公的機関での資料や助言があるが、自分たちの責務であることを認識され、制度利用に向けた更なる学習の機会を期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に2ヶ月に1回、お便りを発送している。金銭管理については1ヶ月に1回程度、他の報告は面会時や電話で報告している。面会の少ない方もいるので、お便り発送時に日常生活ぶりや健康状態を記入した個人メッセージを付け加えている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時の重要事項の説明時に意見箱の設置や面会時の報告、運営推進会議の参加など、家族の意見や意向を把握できるように努めていることを話している。家族の意見や相談については、どんな些細な事であっても直ちに会議で検討し、意向にそえるように努力している。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職については今のところ少ないが異動は時としてある。入居者には事前に報告し、できるだけダメージの少ないように取り組んでいる。家族に対しては面会時などに必ず紹介しやホーム便りなどにも掲載し、安心していただけるように取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。	職員の募集・採用については性格や年齢は不問としている。面接の際には、認知症ケアに求められる素質を考慮し採用している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	人権教育・啓発活動を年1回計画・実施している。グループホームでの人権教育では認知症への理解が第一であるので、職員が日頃からその事を意識し、倫理観を持って対応するように心掛けており指導している。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	研修を受ける機会の確保としてグループホーム協議会や社外研修などへの参加を実施している。職員も努力・研鑽を重ね、介護福祉士国家試験に3名合格している。勤務中は職員の経験や習熟度に応じた学びの機会とし、共に考え討議したり助言したり、お互いの資質向上に努めている。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	開設時より、グループホーム協議会に加入し、研修会での他の事業所の意見や技術をケアの質の向上に役立てている。また、職員同士の交流により、日頃の仕事の悩みの解消や連帯感の維持など同業者との交流が役立っている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	入居時には基本的に入居者・家族の意見を取り入れている。入居者本人が納得の上で、入居されるばかりではないが、事前に必要な情報を収集し、できるだけ入居時に混乱しないように努めている。今後は、入居前の家庭訪問やホーム見学の効果的な方法などについても検討していきたいと考えている。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	入居者には優しさや尊敬の心を持って接するように基本方針に掲げ社内研修も行っている。本人本位の生活ができるよう、よく会話をし、共有の時間を持つようにしている。声かけにより、入居者が積極的に行動されたり、意見を言われたり、職員も学ぶことが多い。日々の暮らしの中で、入居者の喜怒哀楽など支えあう関係を築くように取り組んでいる。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握	入居者の思いや意向をアセスメントすることが介護計画作成の第一歩である。そのため職員は日頃の何気ない会話や行動に問題意識を持って接し、入居者の思いが計画に反映されるように取り組んでいる。		
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画	介護計画作成については入居者との会話や行動の観察、または、家族からの意向を文書化し、合意を得ながら計画に反映させている。本人がより良い暮らしができ、少しでも自分の持てる力が発揮できるように職員全員で介護計画作成に向き合っている。		
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している			
19	39	現状に即した介護計画の見直し	介護計画は定期的な見直しと体調変化による緊急時の場合の見直しがある。モニタリングは計画が適切であるか、新しい課題がないか、介護面だけでなく医療面への配慮も必要のため、かかりつけ医などへの照会も行い、現状に即した計画作成に取り組んでいる。		
		介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している			
3.多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援	職員に医療職が数名おり、健康管理や受診時の情報提供を行い、その事で入居者が安心して現在の暮らしを維持できるように支援している。その他、彼岸の墓参りやショッピング等、個人の求めに応じて柔軟に支援している。併設のデイサービスの催し物の参加で楽しみを広げている。		
		本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4.本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援	かかりつけ医については入居者・家族の意向を取り入れている。受診時には情報提供を行っている。また、近くの在宅医療に熱心な協力医の支援があり、入居者の健康面や状態変化に柔軟に対応できる体制を整えている。		
		本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	状況や機会を考慮しながら、入居者・家族と健康問題についての意向を確認している。かかりつけ医と話し合いができている場合は職員間で情報を共有できるようにしている。更に重度化や終末期のあり方について話し合いが持てるように期待したい。		早期からの話し合いが必要な理由は認知症高齢者は他の高齢者に比べ全身状態の低下が早いとされている。お互いの考え方や意向がずれたまま重度化の時期を迎えることがないようにホーム側が対応できる最大のケアについて説明することが必要と思われるので関係者全員での検討をお願いしたい。
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	個人情報については運営規定を遵守している。居室におけるプライバシーは保たれている。毎日の介護で、その人その人に合った対応をし、馴れ合いにならないように心掛けている。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	ホームでの一日の生活の流れはあるが入居者のその日の体調・気分などにそって支援している。達成感や満足感が得られるように要望にそった支援を行っている。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	職員と共に食材の買い物・準備・片付けが意欲的にできるように働きかけている。職員も一緒に食事し、音楽を流したり、会話をしたり、食事を楽しんでいただけるように取り組んでいる。手作りのおやつは週1回あり、夕食時の飲酒は入居者皆さんの楽しみとなっている。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	週3回、午前と午後に分けて入浴タイムがあり、本人の希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴を楽しんでいただけるように取り組んでいる。入浴後の飲酒も許可しており好評である。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	食事の準備・後片付け・掃除・洗濯物干し・たたみ・買い物などの役割を自分の仕事として担っている。入居者の年齢・性別によってできることや本人の体調や気分によって支援している。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	天候の良い日は近隣の緑地公園に散歩に出かけている。誕生日や気分転換を図るため職員も一緒に外食しショッピングなどを楽しんでいる。また、買い物も職員と共に出かけ、併設のデイサービスの催し物への参加もあり、日々の楽しみの幅を広げている。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	鍵をかけないケアの取り組みは実践しているが、入浴や引継ぎの時間帯などは施錠している。居室については本人・家族の希望にそって対応している。外部からは硬貨を使って開けられるようになっているので安全は守られている。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	年1回、夜間の火災発生を想定して避難訓練を実施している。設備として消防署直通の非常通報装置があり、地域の有力者にも通報が届くようになっており、併せて地域への連絡網として非常通報者の氏名・電話番号などをまとめた一覧表を作成している。運営推進会議では、緊急時には地域の方に入居者の見守りをお願いするなど、地域への協力も依頼している。また、始業時・終業時に防災の自主点検を行い、業務日誌に記録している。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	在宅医療に熱心な協力医の指示により個別的な栄養管理を行っている。メニューは調理士が作成し状態に応じた調理法を行っている。水分確保は食事以外には10時と15時に行っている。体重測定や健康状態の確認もできており、飲酒についても週1回、可としている。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	高い天井から採光が溢れ重厚な床は騒音を吸い込むように安らぎと静けさを感じられる。壁には入居者と共に作った作品や写真が貼られており、季節感がある温かい雰囲気づくりに努めている。また、月ごとの行事や日めくりカレンダーを見えやすい場所に掲示し、日にちや季節がわかるようにしている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	本人の使い慣れた家具が持ち込まれ、家族の写真を飾ったり、置物や花など好みの居室づくりを行っている。家族や本人と相談の上、個人の寝具を使用していること。また、毎朝、本人自身ができる範囲で居室の清掃を行っている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			